

明けまして おめでとう ございます

2024年が スタートしました。

雲一つなく 美しく澄み切った元旦の空を眺めながら 子ども達の輝く笑顔を思い浮かべてこの1年がどんな歩みになるだろうと 希望を託し 平和を願った 穏やかな幕開けでした。

ところが、その わずか数時間後に、まさか年の初めのお正月に、こんなことが起こるなど いったい 誰が予想できたでしょう…。

周りから響く激しいアラート音、地震速報、大津波警報…、立て続けに入ってくる情報に私自身も 12年前の3.11の あの恐怖と緊張が蘇り、茫然と立ち尽くしてしまいました。突然の震度7という大地震、海からの津波だけでなく 土砂崩れによる“山津波”の発生は一瞬にして 尊い存在や大切な場所が奪われてゆく 信じられない光景を目の当たりにされ、どんな想いで 厳しい寒さの中、今この瞬間も過ごされているのだろうかと胸が詰まります。範囲の広さにも驚かされていますが、10日を経過してもなお 頻繁に続く大き過ぎる余震、目を覆いたくなる あまりに悲しい状況に心が痛み、神様の慰めとお守りを祈るばかりです。

改めまして、被災された石川県を始め 周辺の方々に、謹んで心よりお見舞いを申し上げます。能登半島の方々へ想いを馳せ 祈りながら、私達ができることを尽くしていこうと思います。

2024年は、そんな中で久しぶりに会えた子ども達の笑顔に 特別な力を与えられました。9日の朝 全園児と全職員が集まり、1年の最後の3学期がスタートすることを伝えました。「1月～2月、そして3月が来たら、いるか組は小学校へ行って いなくなっちゃうんだよ」と言った途端 小さいクラスの皆は目をまん丸くして「え～」 「ほんと？」とびっくり！「だから たくさんたくさん！いるか組と一緒に いろんなことをして楽しく過ごそうね。」と言うと「うん！いっぱい遊ぶ～」とニコニコ笑顔で互いに見つめ合い 答えていました。それから、2月には 小園江先生のおなかの赤ちゃんが誕生することも伝えると、大喜びで拍手をしたり歓声をあげたりしていました。その後のお祈りでは、赤ちゃんのことに共に大地震で 今も悲しみや苦しみの中に在る大勢の方々のそばにいて 守り助けてくださいと つのぶえ保育園の皆で 心を合わせ、切なる想いと願いを 天の神様にささげました。

3学期は ほんとうにあっという間ですが、一日一日、日々の想いを 常に新しくしながらこの 目の前の愛する子ども達一人一人のまっすぐなまなざしと 明るい笑顔を守るために職員一同、互いに祈り合い 力を注ぎ合いながら、神様から与えられた出会いを感謝し合い つのぶえらしく 温かで心優しい1年を 元気に歩いて参りたいと 心から願っております。本年も どうぞよろしくお願い申し上げます。

世界中 日本中の すべての子ども達の上に神様の平安と祝福がありますように。(石田 記)

「人は 心に自分の道を思い巡らす。

しかし、その人の歩みを確かなものにするのは 主である。(箴言 16:9) 」

「くじは ひざに投げられるが、そのすべての決定は、主から来る。(箴言 16:33) 」